

## 2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科	科 目 区 分	その他	授業の方法	実習
科 目 名	統合実習	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	90 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	3学年	学期及び曜時限		教室名	各実習施設
担 当 教 員	寺崎 経子	実務経験とその関連資格	総合病院にて臨床経験 計15年(主に小児病棟勤務) 地域の学校看護師などの経験		
<b>《授業科目における学習内容》</b>					
これまでの看護学実習で学んだ知識・技術・態度を統合し、専門職として必要な看護実践能力を高める。					
<b>《成績評価の方法と基準》</b>					
実習指導者による行動目標の達成度評価表、実習生の出席状況、実習報告会の評価などによる総合評価とする。					
<b>《使用教材(教科書)及び参考図書》</b>					
<b>《授業外における学習方法》</b>					
事前学習、課題学習を行う。					
<b>《履修に当たっての留意点》</b>					
臨床現場でしか学べない多くの知識・技術・態度を身につける機会です。実習をより実りあるものにする為に学内での授業・実習をしっかりと受講し、事前準備を万全にして臨んでください。					
<b>実習プログラム</b>					
実習期間 時間数	2026年11月 合計90時間				
実習の目的	複数患者を受け持ち、優先順位、判断力を駆使して多重課題に対応できる方法を考え実践できる。 看護管理の重要性について理解する。 看護職を目指す学生としての新たな目標・課題を明確にすることができる。				
実習の内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1)複数の患者を受け持ち、患者に関する効果的・効率的な情報収集および情報整理について学ぶ。</li> <li>2)受け持ち期間中における援助計画を立案する。</li> <li>3)援助項目、優先順位の根拠を学ぶ。</li> <li>4)多重課題への優先順位を考えて実施する。</li> <li>5)受け持ち患者の状態変化に応じて、計画修正をする。</li> <li>6)看護実践の実施後に自己の行動を振り返る。</li> <li>7)自らの能力を超えると判断する場合は、指導者に助言を求める。</li> <li>8)看護師長の役割を知る。</li> <li>9)看護チームのリーダーの役割を知る。</li> <li>10)メンバーとしての役割の重要性を知る。</li> <li>11)医療安全管理の重要性について学ぶ。</li> <li>12)専門職の知識、技術、態度の研鑽の必要性を学ぶ。</li> <li>13)チームの役割を果たすために、心身の健康を管理する。</li> </ol>				